

1. 博多湾再生研究会

博多湾再生研究会は、福岡市の重要な自然環境資源である博多湾の生態系を保全・再生し、人と自然の共生を図り、循環型社会を構築していくために必要な情報交換、調査、研究、情報の発信等を行っていくことを目的として平成14年9月に設置された。会の性格として、産・学・官を問わない出入り自由の団体とし、所外からの参加を募集した。

平成14年度の研究会の活動として下記の、勉強会及び視察報告会を行った。

1) 勉強会

- ① 「ホトトギスガイからみた博多湾の現状」
開催日：平成14年7月23日
講師：福岡大学 山崎 惟義 教授
- ② 「博多湾のカプトガニの挙動」
開催日：平成14年10月4日
講師：環境テクノス 小野 原一 氏
- ③ 「和白干潟のアオサの挙動」
開催日：平成14年11月8日
講師：九州大学 川口 栄男 助教授
- ④ 「今津干潟定量評価の試み」
開催日：平成14年12月20日
講師：保健環境研究所 馬場崎 正博 所長
- ⑤ 「博多湾の環境の変化について」
開催日：平成15年1月24日
講師：福岡県水産海洋技術センター 山本 千裕 氏

2) 視察及び報告会

- ① 視察
場所：ラムサール湿地マイポ (香港)、世界自然基金 (WWF) 香港
日程：平成15年2月9日～12日
コーディネーター：保健環境研究所
主席研究員 廣中 博見
参加者：産・学・官のメンバー計13名
- ② 報告会
開催日：平成15年3月25日
報告者：保健環境研究所 環境科学部門
上野 祐子

今後の活動として、勉強会の継続と並行して、「アオサ」、「溶存酸素」に係る部会を設け少人数で具体的な研究を行う予定である。

2. 廃棄物のエコ処理研究プロジェクト

廃棄物のエコ処理研究プロジェクトは、地球環境を守り、持続的発展が可能な社会を形成するため、環境負荷への低減が可能な廃棄物の処理方法を開発することを目的として平成14年6月に設置された。

平成14年度のプロジェクト内容は環境局内職員も含めた勉強会及び廃棄物試験研究センターで行っている委託調査の報告会、ごみ処理施設などの視察、調査研究等を行った。

1) 勉強会

- ① 「水道企業団での再資源化の現状及び廃研センターの資源化への取組み」
開催日：平成14年10月18日
参加者：水道企業団ほか
- ② 「下水道局での廃棄物の再資源化への取組み」
開催日：平成14年12月12日
参加者：下水道局ほか
- ③ 「焼却残渣の科学と循環資源化技術への応用」
開催日：平成15年1月27日
講師：九州大学 島岡教授
- ④ 「廃棄物の再資源化について」
開催日：平成15年2月17日
講師：福岡大学 松藤教授、田中講師

2) 視察

- ① 三菱マテリアルセメント工場視察
視察日：平成14年7月15日
- ② 久留米市のごみの分別方法、宗像市の清掃工場視察
視察日：平成14年8月2日
- ③ 福岡市内のリサイクル施設等の視察
視察日：平成15年1月16日

3) 報告会

- ① 平成13年度廃研センター委託報告会
開催日：平成14年8月30日
・ 緑のリサイクルセンター堆肥化物性状調査 (九州環境管理協会)
・ 可燃物組成調査委託 (九州環境管理協会)
・ 焼却灰セメント原料化調査 (宇部三菱セメント研究所)
・ ガラスカレット混入舗装道路路面等調査 (鹿島道路)
・ 焼却残渣等資源化基礎調査研究 (九州芸術工科大学：大久保教授)

②南部工場 i プロジェクト報告会

開催日：平成14年12月20日

内 容：南部工場で排ガス量削減を主にした焼却
プラントの最適化に関する調査

4) 平成14年度の調査研究

小学校区単位での家庭ごみ収集量について

5) 平成15年度の調査研究

①高精度 GPS を利用した家庭ごみ収集車両の動態軌
跡取得実証実験（業務課共同実験）

②有機性廃棄物の処理手法に関する調査（講義及び見
学）